



# Press Release

2026年6月1日  
株式会社エネグリ

## 矢巾バイオマス発電所におけるO&M業務（運営・保守管理）開始のお知らせ

—— 地域循環型バイオマスエネルギーの安定稼働と  
持続可能な林業振興を全面サポート ——

関係者各位

地域に寄り添ったエネルギー事業を展開し一次産業の活性化を図る株式会社エネグリ(本社:岩手県盛岡市、代表取締役:金井義博、以下「当社」)は、古里FICエネルギー合同会社(以下「事業者」)が岩手県紫波郡矢巾町にて展開する木質バイオマス発電事業(以下「本事業」)において、発電所の計画・工程管理から人員手配、および商業運転開始後の運営・保守管理(O&M業務)を全面的に担当・サポートしておりますことをお知らせいたします。

### 【本事業の背景と当社の役割】

本事業は、再生可能エネルギーの創出と地域の林業振興を主目的として、2022年5月に設立された古里FICエネルギー合同会社が主導するプロジェクトです。岩手県矢巾町と株式会社東北銀行が連携し、農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画や「ふるさと融資制度」を活用した協調融資など、官民一体となった強い伴走支援体制のもとで進められてまいりました。

2026年5月27日の商業運転開始に向け、当社は発電所立ち上げにおける計画策定やシームレスな工程管理、専門人員の手配など、事業の根幹となる開発フェーズを一貫して全面サポートしてまいりました。今後は、これまで培ってきた専門的な運転実績と独自の技術的知見を最大限に活かし、安心・安全かつ長期的に安定した発電所の運営・保守管理(O&M業務)を担ってまいります。

### 【地域活性化と社会的意義への貢献】

本事業で燃料として使用される木質チップは、古里稲畑フォレスト株式会社(岩手県盛岡市、代表取締役:畠山正)を通じて、主に岩手県産の木材や「林地残材」と呼ばれる未利用材を活用して供給されます。

地元の林業事業者らとの連携協定に基づき、林地に残された資源を有効活用することは、地域の木材需要を喚起し地元雇用の創出を促すだけでなく、森林環境の適切な保全や豪雨時の土砂災害防止といった防災面での機能向上にも直結するものです。当社は、この社会的意義の大きい地域循環型バイオマス発電の現場を技術と運用の両面から支えることで、経済活性化と脱炭素化の両立(カーボンニュートラル)に貢献いたします。

**【本事業および発電所の概要】**

事業者	古里FICエネルギー合同会社 (職務執行者:大橋 英二[合同会社 CEPCO-R])
事業地	岩手県紫波郡矢巾町煙山第2地割78番1
発電出力	1,990 kW
年間想定発電電力量	約1,450万 kWh (一般家庭約5,000世帯分の年間消費電力に相当)
商業運転開始日	2026年5月27日
当社業務範囲	発電所立ち上げに伴う計画・工程管理、人員手配、実際の運営・保守管理(O&M業務)の全面サポート

**【今後の展望】**

株式会社エネグリは、「地産地消のエネルギー創出」と「一次産業の活性化」をコアテーマに掲げ、地域社会に深く寄り添ったエネルギー事業の構築を推進しております。本事業の安定稼働を通じて、官民および地元連携企業各社との確かなパートナーシップのもと、持続可能で豊かな地域社会の未来づくりに邁進してまいります。

以上

<b>【本件に関するお問い合わせ先】</b>	
会社名:	株式会社エネグリ
本社所在地:	岩手県盛岡市大沢川原1丁目3-32 Kビル
代表者:	代表取締役 金井 義博
ホームページ:	<a href="https://www.eneguri.com/">https://www.eneguri.com/</a>
お問い合わせ方法:	上記ウェブサイト内「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。

【発電所の外観】

